

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人光華女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
キャリア形成学部	キャリア形成学科	夜・通信	25	0	25	50	13	
健康科学部	健康栄養学科	夜・通信		0	0	25		
	心理学科	夜・通信			2	27		
看護福祉リハビリテーション学部	福祉リハビリテーション学科	夜・通信		0	22	47		
	看護学科	夜・通信			0	25		
こども教育学部	こども教育学科	夜・通信		0	0	25		
人間健康学群		夜・通信		0	0	25		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html>
 ※項目の「授業」の【授業科目、授業の方法・内容、年間授業計画(シラバス検索)】より検索

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人光華女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://gakuen.koka.ac.jp/scheme

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(前) 住職	2023. 6. 1 ~ 2025 年度定 時評議委員 会 (6. 27) の 終結の時ま で	建学の精神浸透
非常勤	(前) 企業顧問	2022. 4. 1 ~ 2025 年度定 時評議委員 会 (6. 27) の 終結の時ま で	学園広報
非常勤	(現) 学校法人理事長	2024. 4. 1 ~ 2025 年度定 時評議委員 会 (6. 27) の 終結の時ま で	情報収集発信
非常勤	(現) 医師・大学教授	2022. 6. 1 ~ 2025 年度定 時評議委員 会 (6. 27) の 終結の時ま で	情報収集発信
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人 光華女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 例年7月頃、教務委員会にて各学科教務委員へ次年度のシラバス作成スケジュールの確認等を行い、「シラバス作成要綱」、「シラバス作成見本」、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」の資料を基に、以下スケジュールにてシラバス作成を行う。 また、カリキュラムの体系化とこれに基づく授業の実施の観点より、シラバスの点検を行う。シラバスの点検は、学科ごとに、学科長の責任のもとに行うものとする。なお、大学のリベラルアーツ教育科目については、リベラルアーツセンターにおいて行う。 ・シラバス作成：12月初旬～1月中旬 ・シラバスの点検：2月中旬～2月下旬 ・シラバス公表：3月中旬～3月下旬頃	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバス作成要綱に則り、成績を具体的に評価する手段・方法(レポート、定期試験等)、その割合をシラバスに入力することとし、かつ、成績評価方法について、それらの項目を評価する観点や、評価基準を基に成績評価を行う。また、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」に基づき、厳格かつ適正に単位授与を実施している。 学習意欲の把握として、ディプロマポリシー・ルーブリック調査を活用している。ディプロマポリシーの各項目の達成水準を0～4の5段階に設定し、学生のディプロマポリシー達成度に関する自己評価データを収集し、学科の人材養成目標の達成状況を把握している。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価の指標は「学習の成果に係る評価」の成績・GP(Grade Point)と同じである。適正な成績評価が行われているかを検証する取組として、毎年度2回(前期・後期)に学科・学年ごとの成績分布(秀・優・良・可・不可)の割合を算出し、FD委員会にて報告し、各学科にて成績評価の適切性の検証を実施している。</p> <p>GPA(Grade Point Average)の算出方法 $\text{GPA} = \{ (4.0 \times 90 \text{ 点以上相当の修得単位数}) + (3.0 \times 80 \text{ 点以上 90 点未満相当の修得単位数}) + (2.0 \times 70 \text{ 点以上 80 点未満相当の修得単位数}) + (1.0 \times 60 \text{ 点以上 70 点未満相当の修得単位数}) \} \div \text{総履修登録単位数} (\text{「不可」「欠席」の単位数を含む。})$ (注1)「不可」「欠」となった科目を再履修の上、単位修得した場合は最終評価にてGPAを算出する。 (注2)GPAは、小数点第4位を四捨五入し、小数点第3位までの数値で表示する。 (注3)「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含まない。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学内にはFD委員会にて各学科のFD担当者へ公表 学外にはホームページにて公開 https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 仏教精神と本学の建学の精神でもある「真実心=思いやりの心」に基づいた他者と共生できる精神性を養うとともに、女性としての生き方・働き方を確立し、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>◆「卒業要件」 4年以上在学し、下記基準に基づき、卒業単位数128単位を修得しなければならない。履修した授業科目には試験を実施し、合格した科目には単位を認定する。試験の方法は筆記試験、口述試験、論文考査、実技試験の4種とする。試験の成績は100点を最高とし、60点以上を合格とする。</p> <p>【合格】 秀(90点以上) 優(89点から80点まで) 良(79点から70点まで) 可(69点から60点まで)</p> <p>【不合格】 不可(0点から59点まで)</p> <p>◆「卒業判定手順」 4年次の後期成績が確定後、2月中旬、教務委員会にて卒業判定の審議および承認の後、大学運営会議にて審議を行い、卒業者の確定・承認がなされる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html ※ディプロマポリシー(学修成果への評価や卒業認定の方針)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	京都光華女子大学
設置者名	学校法人 光華女子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gakuen.koka.ac.jp/scheme
収支計算書又は損益計算書	https://gakuen.koka.ac.jp/scheme
財産目録	https://gakuen.koka.ac.jp/scheme
事業報告書	https://gakuen.koka.ac.jp/scheme
監事による監査報告(書)	https://gakuen.koka.ac.jp/scheme

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/accreditation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 キャリア形成学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html) (概要) 3 つの領域から自由に学ぶ女子大ならではのカリキュラムで、幅広い業種・業界の企業や公務員を目指す。① 現代社会学・地域公共領域・・・現代社会の課題(まちづくり、少子高齢化、地域医療・福祉、環境)に対する探究力を対話を通じて養い、人間健康学群の科目も受講し、公務員などを目指せます。② 生活学科・観光・デザイン領域・・・ファッション、ブライダル、観光、ネットコンテンツなどの分野での「ものづくり」や「企画」を通じて、センスと技術を磨き、起業 や就職に役立つ力を養います。③ 経営学・データサイエンス領域・・・進化する現代社会で企業で活躍するための想像力と実践力を修得し、AI やデータサイエンスを活用した次世代ビジネス戦略を学びます。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html) (概要) 女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、幅広い知識・多様性の価値の理解、自らの考えを他者に効果的に伝える汎用的能力、学び続ける態度・マネジメント力の志向性、統合的な学習経験と創造的思考力の力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html) (概要) 本学部の人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、以下の 4 つに分けてカリキュラムを編成、実施する。 ① 建学の精神教育 ②リベラルアーツ教育 ③専門教育(基礎) ④専門教育
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html) (概要) 本学科では、現代社会が抱える諸問題の解決に積極的にアプローチする意欲を持ち、創造力と実践力を身につけ、社会に貢献することができる女性を育成します。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めています。このような入学者を適正に選抜するために、教科(国語、英語、数学)の試験、プレゼンテーション、面接など多様な選抜方法を実施します。

学部等名 健康科学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html) (概要) 全部で 2 つの専攻と 1 学科で構成されており、更にそれぞれの専攻分野で高い専門性を学び国家資格の取得を目指す。 ① 健康栄養学科/管理栄養士専攻(主な資格: 管理栄養士, 栄養士, 栄養教諭 1 種免許状等) 健康スポーツ栄養専攻(主な資格: 栄養士, 中学・高校教諭 1 種免許状等) ② 心理学科・・・臨床・心理カウンセリングコース、子ども・発達支援コース、社会・犯罪心理コースの 3 つのコースでは、多岐にわたる資格取得に対応しています。

<p>(主な資格：公認心理師、臨床心理士等)</p> <p>*子供の心の SOS をキャッチ・サポート観点より保育士・保育心理士の養成も実施</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p> <p>(概要)</p> <p>本学部ごと、各専攻分野において専門性を活かしながら女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、以下 4 つの力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>①社会の多様性に適応する知識・理解②汎用的能力③態度・志向性 ④専門分野を通じて統合的な学習経験と創造的思考力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p> <p>(概要)</p> <p>本学部ごと、各専攻分野での人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、各 学科・各専攻ともにいずれも以下同様な方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>①建学の精神教育 ②リベラルアーツ教育 ③専門教育 (基礎) ④専門教育</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html)</p> <p>(概要)</p> <p>・本学部では学科ごとの特色を活かしながらより専門的な知識・技術の資質向上を目指し、育成する。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めている。</p> <p>・管理栄養士専攻：栄養管理・指導能力を持つ人材育成を目指し、実践的な管理栄養士を育成。基礎的知識・技能と関心・意欲が必要で、試験、小論文、面接で選抜。</p> <p>・健康スポーツ専攻：スポーツと栄養の指導能力を持つ人材育成を目指し、実践的なスポーツ指導者・栄養士を育成。基礎的知識・技能と関心・意欲が必要で、試験、小論文、面接で選抜。</p> <p>・心理学科：自己を確立して社会で活躍できる女性を育成。基礎的知識・技能と関心・意欲が必要で、国語・英語の試験、小論文、面接で選抜。</p>
<p>学部等名 看護福祉リハビリテーション学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p> <p>(概要) 看護学科および福祉リハビリテーション学科の 2 つから構成され、それぞれの分野において高い専門性を学び、国家取得を目指す。</p> <p>①看護学科：看護師養成を主目的とし、看護対象である人間のからだところを理解する科目を配置する。</p> <p>②福祉リハビリテーション学科：社会福祉専攻、作業療法専攻、言語聴覚専攻の 3 専攻を置き、医療と福祉のかかわりを理解するための科目を配置する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p>

<p>(概要)</p> <p>本学部ごと、各専攻分野において専門性を活かしながら女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、以下4つの力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>①社会の多様性に適応する知識・理解②汎用的能力③態度・志向性 ④専門分野を通じて統合的な学習経験と創造的思考力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学部ごと、各専攻分野での人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、各学科・各専攻ともいずれも以下同様な方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>① 建学の精神教育 ②リベラルアーツ教育 ③専門教育(基礎) ④専門教育</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html)</p>
<p>(概要) 本学部では、仏教精神に基づいた深い人間理解と人間尊重の価値観を基盤とし、各種専門職に必要な知識と技術を学び、社会貢献ができる女性を育成する。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求める。</p> <p>このような入学者を適正に選抜するために、教科(国語、英語)の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施する。</p>

<p>学部等名 こども教育学部</p>
<p>教育研究上の目的(公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>総合学園である強みを活かした豊富な現場体験により、子どもの豊かな感性を磨き育む学校教員・保育者を目指します。学校教育コース・幼児教育コースからなり、入学後にコース決定ができ、コース変更も可能である。</p> <p>学校教育コース…主な資格：小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状 等 幼児教育コース…主な資格：幼稚園教諭一種免許状、保育士資格 等</p>
<p>卒業の認定に関する方針(公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>学校教育・保育に携わるに相応しい広い視野、柔軟で深い思考力、冷静で筋の通った判断力、更には子どもの成長に資する的確な指導力を身に付け、教員・保育者として主体的に行動できるようになったうえで、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学部ごと、各専攻分野での人材養成目標及びディプロマポリシーの達成のため、各学科・各専攻ともいずれも以下同様な方針に基づきカリキュラムを編成、実施する。</p> <p>①建学の精神教育 ②リベラルアーツ教育 ③専門教育(基礎) ④専門教育</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html)</p>

<p>(概要)</p> <p>本学科では、仏教精神による慈しみの心を以て子どもと向き合い、子どもを深く理解してその育ちを指導・支援できる教員・保育者を育成します。そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めています。</p> <p>このような入学者を適正に選抜するために、教科（国語、英語）の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施します。</p>
--

<p>学部等名 人間健康学群</p>

<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>人の健康の維持・増進に関わる課題を総合的に考え解決に導くために、WHO が提唱する健康の定義の考え方（健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病または病弱が存在しないことではない）に基づき、身体的健康・精神的健康・社会的健康に関わる知識と技能を修得し、人の生涯に渡る健康の維持・増進、延いては社会全体の健康の維持・増進をマネジメントできる能力を修得した人材を養成することを目的とする。</p>

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>各専攻分野において専門性を活かしながら女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性として、以下4つの力を身につけ、学則に定める卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>④ 社会の多様性に適応する知識・理解②汎用的能力③態度・志向性 ③ 専門分野を通じて統合的な学習経験と創造的思考力</p>
--

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>1 建学の精神教育 仏教の人間観と「京都光華の学び」を通じて、思いやりと社会的価値観を育む。</p> <p>2 リベラルアーツ教育 市民性・多様性理解・教養を育てる科目や、情報・語学・健康・日本文化に関する必修・選択科目を設置。</p> <p>3 専門教育（基礎） 健康・福祉・心理・食生活の基礎知識および情報処理・統計の科目を通じて、健康と社会の関係を理解。</p> <p>4 専門教育（応用） 健康問題を多角的に考える科目群や演習科目で知識を統合。キャリアや資格取得を支援する科目も設置。</p> <p>5 カリキュラムの実施方針 PBLやアクティブラーニングを導入し、対面とオンライン授業を併用。理解度の定期的評価や多面的なフィードバックで学習効果を高める。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.koka.ac.jp/admission/exam/policy.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>2025年4月1日：募集停止</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
キャリア形成学部	—	6人	7人	1人	0人	0人	14人
健康科学部	—	11人	12人	4人	0人	0人	27人
看護福祉リハビリテーション学部	—	13人	9人	10人	10人	0人	42人
こども教育学部	—	7人	2人	2人			11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
—			180人				180人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページおよび、「researchmap」にて公開					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD 委員会を設置し、教育内容・方法に関する事項、FD 研修の企画・実施に関する事項の審議を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
キャリア形成学部	75人	50人	66.7%	330人	208人	63.0%	0人	0人
健康科学部	180人	133人	73.9%	1010人	791人	78.3%	4人	4人
看護福祉リハビリテーション学部	155人	149人	96.1%	330人	276人	83.6%	0人	0人
こども教育学部	65(10)人	25人	38.5%	250人	140人	56.0%	0人	0人
人間健康学群	12人	3人	25%	48人	7人	14.6%	0人	0人
合計	487人	360人	73.9%	1968人	1422人	72.3%	4人	4人
(備考) 人間健康学群の定員は、健康科学部健康栄養学科(健康スポーツ栄養専攻)の3年次編入定員(2名)及びこども教育学部の入学定員(10名)の内数である。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
キャリア形成学部	83人 (100%)	0人 (%)	75人 (90.3%)	8人 (9.7%)

健康科学部	266人 (100%)	7人 (2.6%)	220人 (82.7%)	39人 (14.7%)
こども教育学部	44人 (100%)	0人 (%)	44人 (100%)	0人 (%)
合計	393人 (100%)	7人 (1.8%)	339人 (86.3%)	47人 (11.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・主な進学先：京都光華女子大学大学院、立命館大学大学院 ・キャリア形成学部の主な就職先：GSユアサバッテリー、光華女子学園 ・健康科学部の主な就職先：日清医療食品、日本新薬アドバンス、京都大学附属病院、武田病院グループ、京都市役所、京都岡本記念病院、法務教官 ・こども教育学部の主な就職先：京都府、大阪市 				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>例年7月頃、教務委員会にて事務局より各学科教務委員へ、次年度のシラバス作成スケジュールの確認等を行い、「シラバス作成要綱」、「シラバス作成見本」、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」の資料を基に、以下スケジュールにてシラバス作成を行う。また、カリキュラムの体系化とこれに基づく授業の実施の観点より、シラバスの点検を行う。シラバスの点検は、学科ごとに、学科長の責任のもとに行うものとする。なお、大学のリベラルアーツ教育科目については、リベラルアーツセンターにおいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス作成：12月初旬～1月中旬 ・シラバスの点検：2月中旬～2月下旬 ・シラバス公表：3月中旬～3月下旬頃

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>シラバス作成要綱に則り、成績を具体的に評価する手段・方法(レポート、定期試験等)、その割合をシラバスに入力することとし、かつ、成績評価方法について、それらの項目を評価する観点や、評価基準を基に成績評価を行う。また、「学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」に基づき、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</p>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	128 単位	有	48 単位
健康科学部	健康栄養学科	128 単位	有	48 単位
	心理学科	128 単位	有	48 単位
看護福祉リハビリ テーション学部	福祉リハビリテー ション学科	128 単位	有	48 単位
	看護学科	128 単位	有	48 単位
こども教育学部	こども教育学科	128 単位	有	48 単位
人間健康学群		128 単位	有	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：履修登録単位上限の緩和 ※学期 GPA3.3 以上の場合、翌学期の履修登録単位上限 4 単位増 が可能		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：GPA の上書き 「不可」「欠」となった科目を再履修の上、単位修得した場合は 最終評価にて GPA を算出する。		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

2019年度以前入学生は以下の授業料となります。

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	948,000円	250,000円	176,000円	施設設備費
健康科学部	健康栄養学科管理栄養士専攻	948,000円	250,000円	239,000円	施設設備費
	健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻	948,000円	250,000円	239,000円	施設設備費
	看護学科	1,050,000円	250,000円	604,000円	施設設備費、実験実習料
	心理学科	948,000円	250,000円	176,000円	施設設備費
	医療福祉学科社会福祉専攻	948,000円	250,000円	176,000円	施設設備費
	医療福祉学科言語聴覚専攻	948,000円	250,000円	389,000円	施設設備費、実験実習料
こども教育学部	こども教育学科	948,000円	250,000円	200,000円	施設設備費

2020年度以降入学生より以下の授業料となります。

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
キャリア形成学部	キャリア形成学科	1,150,000円	250,000円		
健康科学部	健康栄養学科管理栄養士専攻	1,200,000円	250,000円	50,000円	実験実習料
	健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻	1,200,000円	250,000円	20,000円	実験実習料
	看護学科	1,440,000円	250,000円	250,000円	実験実習料
	心理学科	1,150,000円	250,000円		
	医療福祉学科社会福祉専攻	1,150,000円	250,000円		
	医療福祉学科言語聴覚専攻	1,220,000円	250,000円	180,000円	実験実習料
	人間健康学群		1,250,000円	250,000円	
こども教育学部	こども教育学科	1,160,000円	250,000円		

2024 年度以降入学生より以下の授業料となります。

学部名	学科名		授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
キャリア 形成学部	キャリア形成 学科	初年度	970,000 円	250,000 円		
		2 年次以降	1,220,000 円			
健康科学 部	健康栄養学科 管理栄養士専 攻	初年度	1,100,000 円	250,000 円	50,000 円	実験実習料
		2 年次以降	1,350,000 円		50,000 円	実験実習料
	健康栄養学科 健康スポーツ 栄養専攻	初年度	1,060,000 円	250,000 円	20,000 円	実験実習料
		2 年次以降	1,310,000 円		20,000 円	実験実習料
	心理学科	初年度	970,000 円	250,000 円		
		2 年次以降	1,220,000 円			
看護福祉 リハビリ テーショ ン学部	福祉リハビリ テーション学 科 作業療法 専攻	初年度	1,220,000 円	250,000 円	180,000 円	
		2 年次以降	1,470,000 円		180,000 円	実験実習料
	福祉リハビリ テーション学 科 言語聴覚 専攻	初年度	1,220,000 円	250,000 円	180,000 円	実験実習料
		2 年次以降	1,470,000 円		180,000 円	実験実習料
	福祉リハビリ テーション学 科 社会福祉 専攻	初年度	970,000 円	250,000 円		
		2 年次以降	1,220,000 円			
	看護学科	初年度	1,260,000 円	250,000 円	250,000 円	実験実習料
		2 年次以降	1,510,000 円		250,000 円	実験実習料
人間健康学群		初年度	1,070,000 円	250,000 円		
		2 年次以降	1,320,000 円			
こども教 育学部	こども教育学 科	初年度	980,000 円	250,000 円		
		2 年次以降	1,230,000 円			

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学科・専攻を問わず「学び」を総合的に支援する場所として、本学では「学習ステーション」を学内に設けている。ここでは、学生の主体的な学修を支援することを目的に、自学習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど、自分の学習の目的やスタイルに合わせて学習することが可能である。また、学修アドバイザー(教員)が交代制で常駐しており、様々な学修支援プログラムを実施し、学生の学修支援を行っている(国家試験対策講座、資格対策講座等)。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路選択に係る支援に関する取組としては、学科教員と連携して、1年生から就業意欲の醸成をはかり、大切な将来のこと・キャリアプラン等を考える機会を提供します。具体的には、インターンシップや就職ガイダンスをはじめOG懇談会や合同企業説明会などを開催。これまで学んできたこと・経験したことから自己を理解し、自らが希望する道を切り拓けるよう、キャリア形成や就職活動を行う上で必要な知識・考え方を身につける内容としています。また、個別の就職支援としては、学生一人ひとりの希望や考えを大切に就職相談、履歴書・エントリーシートの添削、実践の場面を想定した模擬面接等を実施。就職活動で力を発揮できるよう・不安を少しでも解消できるよう、サポートしていきます。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 本学では心身のケアのために、保健室と学生相談室を設け相談に応じています。保健室では、健康診断やけが・疾病の応急処置、メンタル不調の訴えへの対応などを行い、学生生活をサポートしています。また、学校医が健康上の不安やこころの悩みの相談にも対応し、状況に応じて医療機関も紹介しています。学生相談室では専門のカウンセラーやスクールカウンセラーが学生の相談に対応しており、月2回、精神科医の面接日を設けている他、適性テストなども実施しています。

配慮を要する学生に対しては、「京都光華女子大学障がい学生支援に関するガイドライン」に基づき保健室、学生相談室、学生サポートセンター（学生支援担当）、学科等が連携し、原則、学生本人の申請により修学機会の確保と質保障のため合理的配慮を実践しています。また、学生向け、教職員向けに「合理的配慮のためのガイドブック」を作成し、学校専用アプリより閲覧できるようにしています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.koka.ac.jp/introduction/education.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。